

# 高二 古文

## 第八回 小テスト

出題範囲

古文単語

330

106 から

120

注意事項

- ① 質問があれば高木まで。
- ② 終了したならば、  
提出して帰る。
- ③ 私語・カンニングは未受験。



STUDY COLLABO®

# 単語・文法小テスト

氏名

点数

1 次の傍線部の口語訳として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 たよりの人に言ひつきて、女は京に来にけり。(大和物語)

- ①宮中      ②高位      ③縁故      ④地元

2 寺にたうときわざすなる、見せたてまつらむ。(大和物語)

- ①演舞      ②造営      ③仏事      ④寄進

3 いづくにもあれ、しばし旅立ちたるこそ、目さむる心地すれ。(徒然草)

- ①香り      ②予感      ③音      ④気持ち

4 三月のつごもりなれば、京の花、盛りはみな過ぎにけり。(源氏物語)

- ①中旬      ②時節      ③月初め      ④月末

5 つた、かへでは茂り、もの心細く、すずろなるめを見ることと思ふに、修行者あひたり。(伊勢物語)

- ①思いがけない      ②予想どおりの      ③最低の      ④悲しい

5      〔      〕

4      〔      〕

3      〔      〕

2      〔      〕

1      〔      〕

6 おほやけの宮仕へしければ、常にはえまうでず。(伊勢物語)

- ①高貴な人
- ②朝廷
- ③大臣
- ④神仏

7 験なきものを思はずは一坏の濁れる酒を飲むべくあるらし(万葉集)

- ①効果
- ②目的
- ③道理
- ④終わり

8 小式部、これより、歌詠みの世におぼえ出で来にけり。(十訓抄)

- ①気位
- ②評判
- ③地位
- ④悪名

9 十七日のつとめて、立つ。(更級日記)

- ①夜更け
- ②翌日
- ③早朝
- ④夕方

10 人を見るに、少し心あるきは、皆このあらましにてぞ一期は過ぐめる。(徒然草)

- ①程度
- ②普通
- ③世代
- ④少数

10  
〱  
〱

9  
〱  
〱

8  
〱  
〱

7  
〱  
〱

6  
〱  
〱

